

キトラ古墳におけるこれまでの発掘調査で判明している主な事柄

古墳壁画保存活用検討会保存技術WG (第7回)

(H21. 11. 19)

配付資料5

○ 墳丘

- ・ 下段直径13.8m、上段直径9.4m、高さ3.3mの二段築成の円墳
- ・ 墓道幅約2.35～2.65m、推定全長5m
- ・ 墓道床面に閉塞石(南壁)を運ぶためのコロのレール痕跡4条と柱穴
- ・ 版築による築成
- ・ 版築に伴う板状痕跡
- ・ 礫詰めの暗渠排水溝の検出(墳丘南西側)

○ 墳丘の築造過程

- ・ 東西に延びる丘陵の南側斜面を削り出して基礎造成
- ・ 墳丘下段予定地の東西裾に沿って掘り下げ、墳丘の規模と位置を確定
- ・ 暗渠排水溝の設置
- ・ 周辺を平坦にするために黄橙色砂質土系な版築による基礎造成
- ・ 石室の構築と合わせて、版築によって墳丘を築成

○ 出土遺物

- ・ 棺金具(金銅製鍔座金具、銀環付六花形飾金具、ほか)
- ・ 黒漆塗銀装大刀、鉄地銀張金象嵌帯執金具、大刀片
- ・ 漆塗木棺(棺材、漆膜)
- ・ 玉類(琥珀玉、ガラス玉)
- ・ 微小鉛ガラス玉
- ・ 金箔
- ・ 土器・瓦
- ・ その他

平成9年～平成10年調査について

- 目的：①墳丘及び法面の崩落を防ぐための応急的な保護対策に伴う発掘調査
(新たに道路を南に曲げ、現道及び法面(墳丘裾)部分に盛土して、表面を植生土のうで覆う法面保護を目的とした工事)
②古墳の墳丘規模を確定するための範囲確認調査

調査主体：明日香村教育委員会

調査面積：110㎡

調査箇所：①南側斜面

②墳丘北半部、墳丘裾の約半分にあたる部分

成果：①墳丘版築層と石を詰めた暗渠排水溝

②下段直径13.8m、上段直径9.4m、高さ3.3mの二段築成の円墳版築によって築成されていること

出典：明日香村教委『キトラ古墳学術調査報告書』1999年

文化庁、奈文研、樫考研、村教委『特別史跡キトラ古墳発掘調査報告』2008年



平成9年以前のキトラ古墳遠景(南から)



南側斜面応急対策後(南から)



墳丘応急対策後(南から)



南側斜面 暗渠排水溝(南から)

平成14年～16年調査について

- 目的：①墓道部や盗掘坑とその周辺の状況の解明
②覆屋設計にあたっての基礎資料を得ること
- 調査主体：文化庁、奈良文化財研究所、奈良県立橿原考古学研究所、明日香村教育委員会
- 調査面積：214㎡
- 調査箇所：①墓道全体（ただし、盗掘坑の手前まで）と墳頂部
②墳丘下の旧村道部
- 成果：①墓道は幅約2.35～2.65mで、推定全長5m
盗掘坑の形状
墓道を突き固めながら埋めた際の版築の様子
墓道床面に南壁の石材を運ぶためのコロのレール痕跡4条
②墳丘の築成状況
暗渠を再検出

出典：文化庁、奈文研、橿考研、村教委『特別史跡キトラ古墳発掘調査報告』2008年



墓道部発掘調査中のキトラ古墳（南から）



墓道部全景（南から）





墓道部完掘状況（南から）



コロのレール痕跡と柱穴（南から）



キトラ古墳発掘調査区

( は明日香村調査 (平成 9 ~ 10 年)、 は文化庁他調査 (平成 14 ~ 16 年))